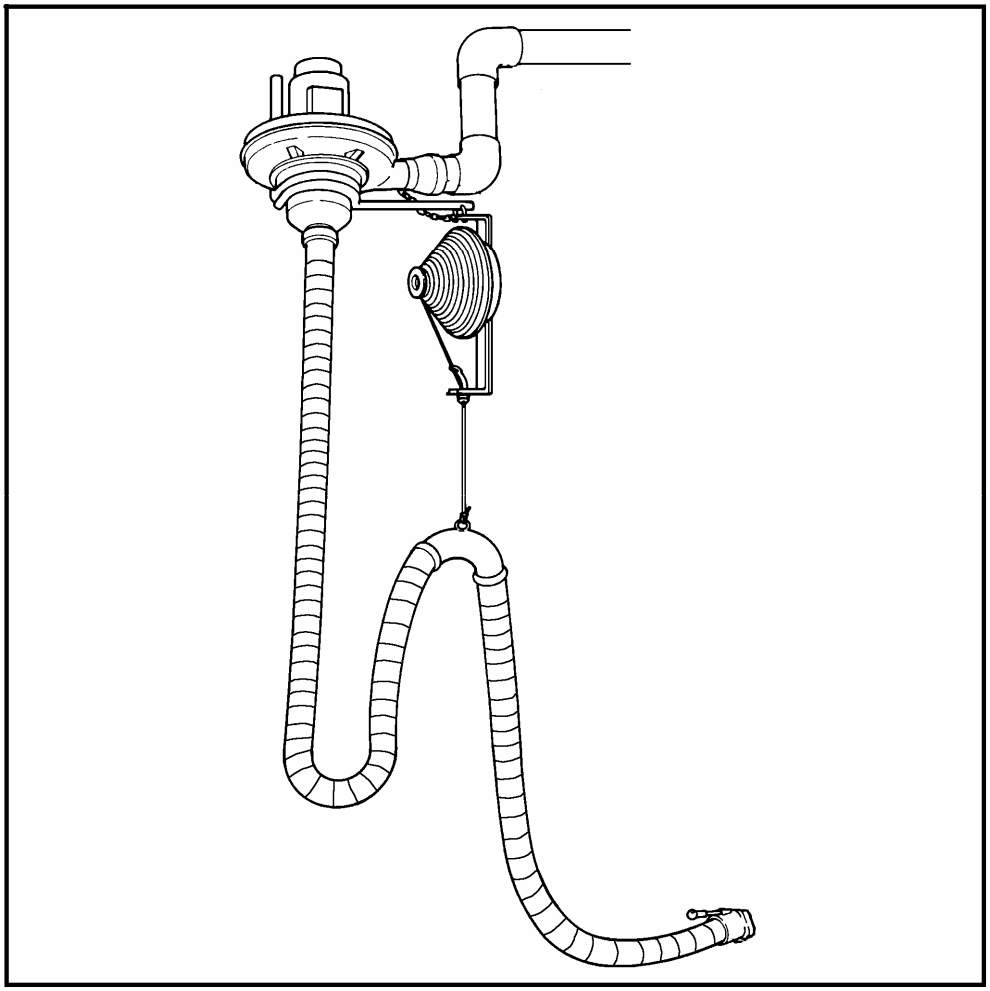
Doc. No.	EXT009U-03

yamada

取 扱 説 明 書

簡易型排気ホースユニット



⚠ 警告

安全のため、本機のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要事項を良く理解してください。
お読みになった後は、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、本製品を安全に正しくかつ効率的にお使いいただくための重要な事項を記載しています。本製品をお使いになる前に本書を熟読し、特に本書の冒頭の「警告･注意事項」の項をよくお読みになり、ご理解された上でお使いください。なお、本書は本製品をお使いいただく際にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。

- 使用目的

本機は、アイドリング状態にある一般乗用車やトラックなどを点検・整備する際に発生する排気ガスを排気ファン及びダクトなどと併用して、屋外に排出するための装置です。なお、本機は溶接のヒューム・塵埃などの排出には使用することはできません。

- 警告･注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。
本書では、警告･注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。

⚠ 警告：	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性、又は重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠ 注意：	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。

この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。

この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告･注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

⚠警告

- 車両エンジンの回転数を上げたまま（空ふかしや高負荷状態）の状態で長時間使用しないでください。排気ガスの温度が上昇し、火災やホースの劣化など故障の原因になるとともに、室内に排気ガスが充満し作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。

- 黒煙除去装置（DPF,DPD,DPR など）を装着している車両において、黒煙除去装置が再生状態にある場合には、使用しないでください。
  排気ガスの温度が高温（400℃以上）となり、ホースの破損や火災の原因となります。

- 車両マフラーへのラバーノズルの差込み固定は確実に行ってください。固定状態が不十分な場合、エンジンの始動時や、稼働中にノズルが外れ、排気ガスを吸引することができず、室内に排気ガスが充満し、作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。

⚠注意

- 本機の改造は絶対にしないでください。改造すると人身事故や故障を生じる恐れがあります。

- 排気ホースを下降させる場合には、不注意な事故が起きないように、本機の真下に人や車両がないことを確認してください。

- 排気ホースが手の届く範囲まで下りてきたら、ラバーノズルのグリップを持ちながら排気ホースを下降させてください。手放し状態ではラバーノズルが空中で揺れて、人や車両などを傷付ける恐れがあります。

- 車両のエンジンを停止した直後のラバーノズルは、大変高温になっています。ラバーノズルの取外しには手袋などの防具をはめて、火傷しないように注意してください。

＜Note＞

・エンジンクリーナーを使用した状態での車両には使用しないでください。エンジンクリーナーに含まれている成分が排気ホースの寿命を著しく短くします。

目次

- はじめに
- 使用目的
- 警告･注意事項
- 使用上の注意
- 目次

1. 各部の名称 1

2. 設置 2

3. 使用前の準備 2

4. 使用方法 5

5. 保守･点検

5.1 故障の点検とその対策 7

5.2 保守･点検 7

6. 仕様 8

7. 主要寸法 8

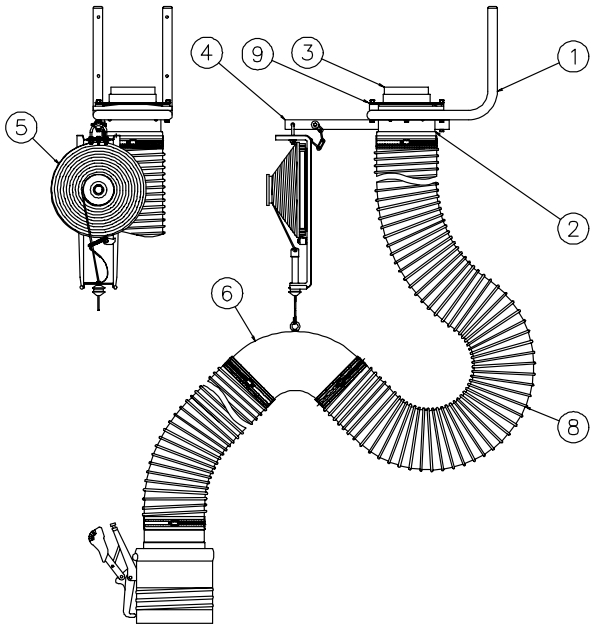
7.1 排気ホースユニット 8

7.2 ラバーノズル 9

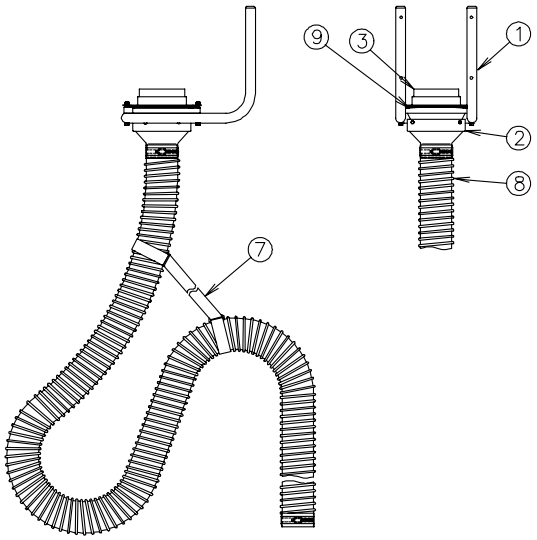
8. 保証規定 10

1. 各部の名称

＜ウェイトバランサー仕様＞

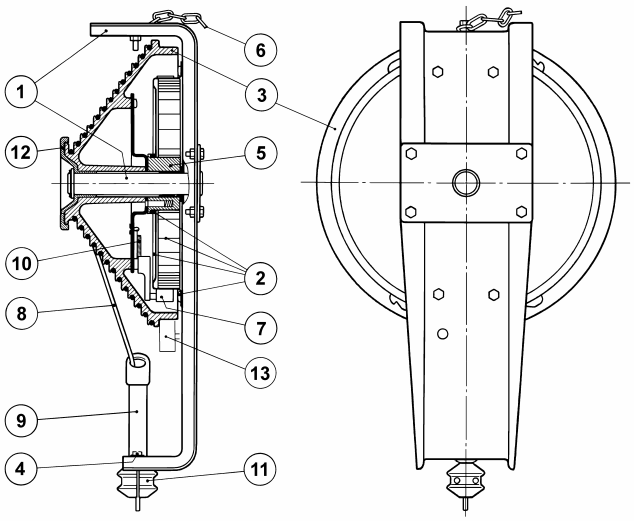


＜サスペンション仕様＞



No.	部品番号	名称	員数
1	H550635	ブラケット	1
2	H374549	スイベル(4”)	1
	H374550	スイベル(6”)	1
	H374551	スイベル(8”)	1
3	H321385	アダプターメタル	1
4		バランサーホルダー	1
5	H800431	ウエイトバランサー(4”,6”)	1
	H800631	ウエイトバランサー(8”)	1
6	H344591	ベンド(4”)	1
	H344593	ベンド(6”)	1
	H371927	ベンド(8”)	1
7	H332420	ホースサスペンション	1
8	P.8参照	排気ホース	1
9	H343018	シーリング	1
−	P.8参照	ラバーノズル(8”仕様のみ付属)	1
−	−	排気ファン(別売品)	1

※1. 排気ファンのご購入をお考えの方はお問い合わせください。



No.	部品名称
1	ブラケット
2	スプリング、ブレーキ
3	ホイール
4	引出し口
5	ハブ
6	チェーン
7	ブレーキストラップ
8	ロープ
9	ストレッチャー
10	スプリング
11	ストッパー
12	アジャスティング･ノブ
13	ラッチ装置（別売品）

2. 設置

簡易型排気ホースユニットは、壁面に取付けてください。また、床面からの取付け高さは、作業エリア及び排気ホースの引出し長さを考慮して決定してください。

3. 使用前の準備

本文はウェイトバランサー仕様について記述してあります。サスペンション仕様に於いて、ウェイトバランサー仕様と異なる部分は斜字体で記述してあります。

本機には車両のマフラー部に接続するラバーノズル、及び排気ガスを吸引･排出する排気ファンは含まれておりません。別途ご購入ください。また、車両マフラー部に排気ホースが届かない場合には、延長用の排気ホースを別途ご購入の上、延長接続してください。

1) 本機を壁面に固定しているボルト及びナットに緩みがないか確認してください。

2) ・作業者の手を届くところにラバーノズルがあることを確認してください。
   ・ラバーノズルをしっかりと保持し、排気ホースを下げた時、ウェイトバランサーによるホースを吊下げている力（張力）の調整が、適正であることを確認してください。(Fig. 1)
   ・排気ホースを下ろす際にカチカチとラッチ音が鳴るところで手を緩め、その位置でラッチ装置のロックが掛かることを確認してください。

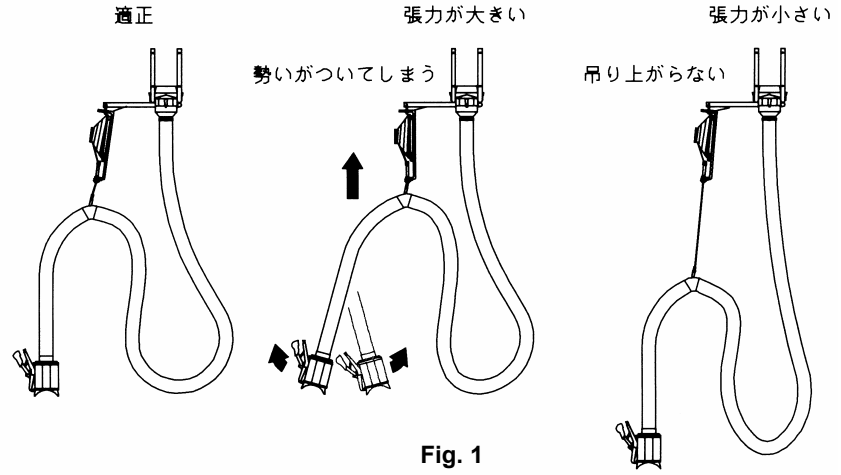


Fig. 1

※ 作業者の手の届くところにラバーノズルがない場合、ウェイトバランサーの張力が適正ではない場合は以下の通りに調整してください。

⚠ 注意
- 張力を調整する際は、ホイールをしっかりと押さえながら行ってください。ホイールの押さえが不十分であると、ホイールが勢いよく回転し、大変危険です。

a) 張力が小さい場合：ホイールを押さえながら、アジャスティング･ノブを反時計方向に回す。(Fig. 2)
b) 張力が大きい場合：ホイールを押さえながら、ホイールに巻かれているロープを一巻単位で外す。(Fig. 3)

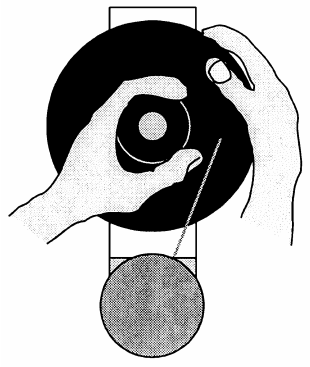


Fig. 2

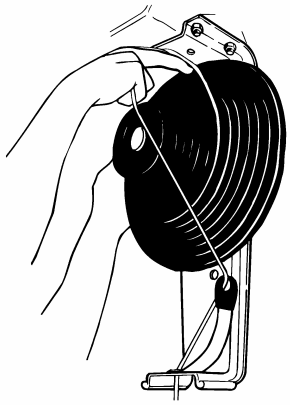


Fig. 3

■サスペンション仕様

・作業者の手の届くところにラバーノズルがあることを確認してください。
・作業者の手の届くところで、フックからサスペンションを取外せることを確認してください。

⚠ 注意

- 排気ホースを下げる場合には、事故が起きないように、本機の真下に人や車両がないことを確認してください。
- 排気ホースを無理に引張らないでください。排気ホース及び機器の破損の原因になります。

3) ・排気ホースにラバーノズルが確実に接続されていることを確認してください。

ラバーノズルの取付け（Fig. 4, 5）

a) ラバーカバー及びホースバンドに排気ホースを通してください。
b) 排気ホースをラバーノズルのフレキシブルパイプ部の奥まで差し込み､ホースバンドを排気ホースの端まで移動させてください。
c) ホースバンドにてしっかりと締め付けてください。（締付けトルク参考値：2.5 N・m）
d) ラバーカバーをホースバンドの上に覆い被せ、ホースバンドの金属部が見えないようにしてください。

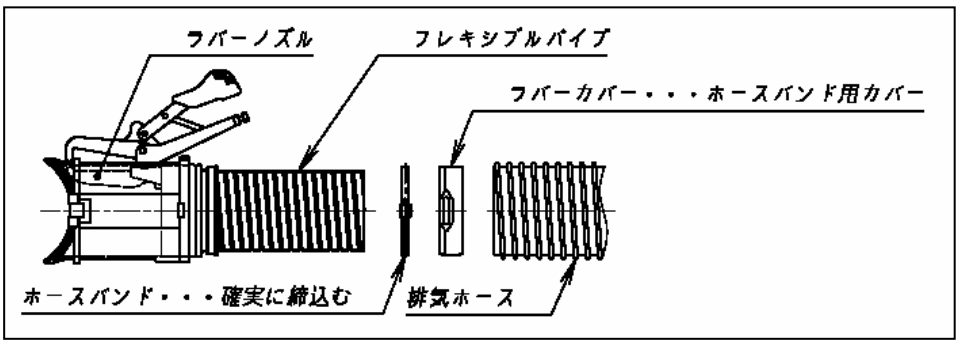
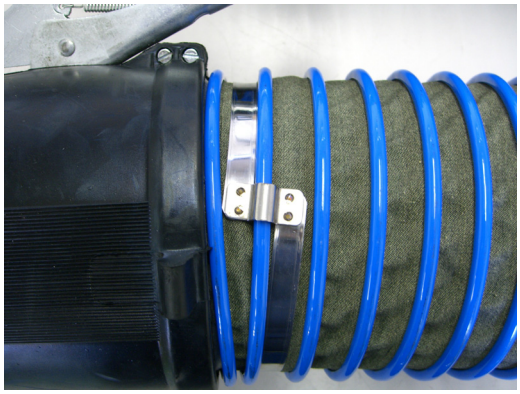


Fig. 4

⚠ 注意

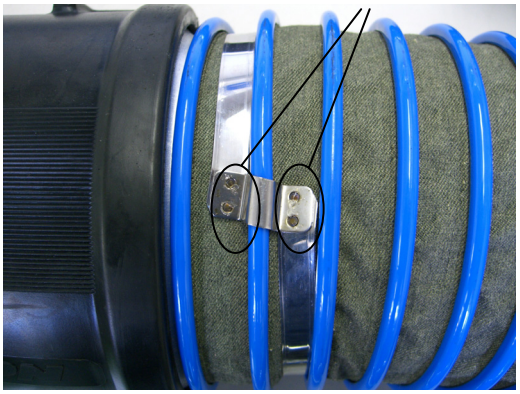
- ホースバンドを強く締めすぎると溶接部が変形し、溶接が外れる恐れがあります。ホースバンドの溶接部が変形しないように注意しながら締め付けてください。
- ラバーカバーはホースバンド全周を覆うようにして取り付けてください。ホースバンドの一部がラバーカバーよりはみ出していると、その部分との接触により排気ホースや車両等の損傷、及び人的損傷を起こす恐れがあります。

＜良い例＞



しっかりと締め付けられており、溶接部に変形がない状態　　**Fig. 5 (a)**

＜悪い例＞　　溶接部の変形



過度の締め付けにより溶接部に大きな変形が見られる状態　　**Fig. 5 (b)**

4) ラバーノズルの先端部（バイスグリップ部）が、車両の排気マフラーにしっかりと固定できることを確認してください。車両マフラーの板厚によっては上手くクリップできないことがあります。その場合には、グリップの調整ねじで調整を行ってください。(Fig. 6)

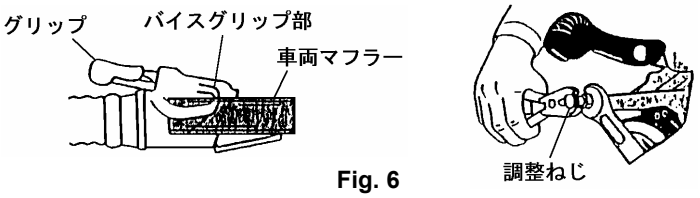


Fig. 6

⚠ 注意

- 車両のマフラー部にラバーノズルが届かない場合は、ラバーノズルを無理に引張らずに車両をラバーノズルの届く範囲まで移動させてください。無理に引張ると排気ホース及び機器の破損の原因になります。
- 車両のマフラーに接続する時は、排気ホースを床面に引きずらないでください。ホースに傷が付くことによりホースの寿命が短くなります。

5) **■ウェイトバランサー仕様の場合のみ**

・ロープを少し引出し、ラッチ装置のロックを解除して、排気ホースが適正の位置まで吊上ることを確認してください。この時、空中でラバーノズルが左右に揺れないようにラバーノズルに手を添えて安全に行ってください。

⚠ 注意

- 排気ホースを吊上げる際は、必ずラバーノズルを保持しながら行ってください。ノズルが空中で揺れて車両などに損傷を与える原因になります。

4. 使用方法

本文はウェイトバランサー仕様について記述してあります。サスペンション仕様に於いて、ウェイトバランサー仕様と異なる部分は斜字体で記述してあります。

1) ラバーノズルのグリップをしっかりと保持し、必要な長さまで排気ホースを下ろしてください。この時、カチカチと鳴っているところで手を離すと、その位置でラッチ装置のロックが掛かります。

⚠ 注意

- 排気ホースを下ろす際は、必ずラバーノズルを保持しながら行ってください。ノズルが空中で揺れて車両などに損傷を与える原因になります。

■サスペンション仕様

・ラバーノズルのグリップをしっかりと保持し、フックからサスペンションを取外してください。

2) ラバーノズルのグリップを持ち、先端部（バイスグリップ部）を車両マフラーに差込んでクリップし、確実に固定してください。固定できない場合は、グリップの調整ねじを再調整してください。

⚠ 注意

- エンジンクリーナーなどを使用した車両には、絶対に使用しないでください。エンジンクリーナーに含まれている成分が排気ホースの寿命を著しく短くします。

- 固定状態が不十分な場合、エンジンの始動時や稼動中にラバーノズルが外れ、排気ガスを吸引することができず、室内に排気ガスが充満し作業者の健康に影響を及ぼす恐れがあります。

3) 車両のエンジンをかけ、エンジンの回転数を抑えて（アイドリング状態）作業を行ってください。排気ホースの耐熱温度は表の通りです

・排気ホースの耐熱温度

	通常の連続使用温度	短時間での最高使用温度（5 分）
NR-CP	150 ℃	175 ℃
NFC-3	300 ℃	350 ℃

4) 作業が終了したら、車両のエンジンを停止してください。

5) ラバーノズルのクリップを完全に解除して、先端部（バイスグリップ部）を車両マフラーから取外してください。

⚠ 注意

- 必ず車両のエンジンが止まっていることを確認してください。エンジンを止めずにラバーノズルを外すと排気ガスの熱で、火傷や怪我の原因となります。

- クリップを完全に解除してからラバーノズルを引抜いてください。クリップの解除が不完全のまま引抜くと、車両マフラーなどの傷や故障の原因になります。

- 車両のエンジンを停止した直後のラバーノズルは、大変高温になっております。ラバーノズルを取外す際には、十分ご注意ください。

6) ウェイトバランサーのラッチ装置のロックを解除し、排気ホースに手を添えて、安全に吊上げてください。

■サスペンション仕様の場合

ラバーノズルを持ちながらサスペンションをフックに引掛けてください。

⚠ 注意

- 必ずラバーノズルが車両から外れていることを確認してから、排気ホースを吊上げてください。外れていない場合に排気ホースを吊上げると、排気ホース、ラバーノズル又は車両などの破損の原因になります。

5. 保守･点検

5.1 故障の点検とその対策

状　況	原　　因	点検内容･対策
排気ガスの吸込みが悪い、又は吸わない。	・ラバーノズルに大きなゴミやウエスなどが付いている。 ・排気ホースが切れている。 ・ダクトが外れている。 ・ファンの電源が入っていない。	・ゴミなどを取除く。 ・排気ホースを交換する。 ・弊社営業まで修理を依頼する。 ・ファンの電源を入れる。
排気ホースが車両まで届かない。	・車両の位置が適切でない。	・車両を適切な位置まで移動させる。
手の届く位置にラバーノズルがない。	・サスペンションの位置が適切でない。 ・ウェイトバランサーによる張力が適切でない。	・サスペンションを適正な位置に調整する。 ・ウェイトバランサーによる張力を調整する。
排気ホースが吊上がらない。	・ラッチ装置がロックされている。 ・ウェイトバランサーの張力が小さすぎる。	・ラッチ装置のロックを解除する。 ・ウェイトバランサーの張力を適正にする。
排気ホースが勢いよく吊上がる。	・ウェイトバランサーの張力が大きすぎる。	・ウェイトバランサーの張力を適正にする。

5.2 保守･点検

■点検

・排気ホースに切れや劣化がないか目視、又は触診にて確認してください。切れや劣化を発見した場合、速やかに販売店又は弊社営業まで連絡してください。
・ラバーノズルの開口部に大きなゴミやウエスなどがないか目視にて確認してください。ゴミなどを発見した場合は取除いてください。

■消耗品の交換

消耗品の内、下記の消耗品に異常が発見された場合、速やかに販売店又は弊社営業に連絡し、新品と交換してください。
・排気ホースに切れや劣化が見つかった場合
・ラバーノズルに破損があった場合
・ウェイトバランサーのコードに切れが見つかった場合

⚠ 注意

- 消耗品に不備が見つかった場合には、速やかに交換を行ってください。システムが有効に作動せず思わぬ事故を招く恐れがあります。
- 消耗品の交換は、高所での作業を伴うことがあります。安全規則を遵守の上、落下などには十分に注意して行ってください。

＜オプション＞
・各種延長用排気ホース（長さ：2.5m, 5m, 7.5m　サイズ：3″,4″,5″,6″）
・各種ラバーノズル（形状：円形, 三角　サイズ：3″,4″,5″,6″）

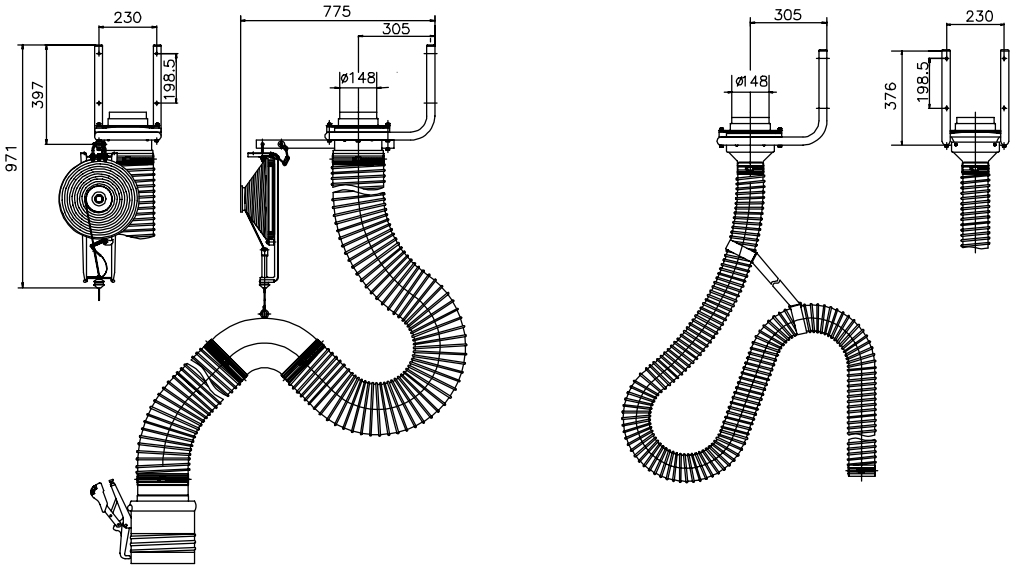
6. 仕様

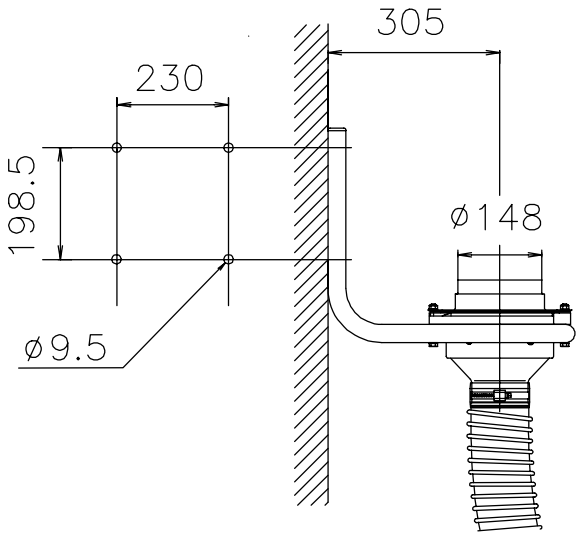
製品番号	製品名称	仕様				質量(kg)※
		タイプ		ホース種類	サイズ×長さ	
H800263	簡易型排気ホースユニット	シングルタイプ	ホースサスペンション	NC-CP (EPDM)	4"(φ100)×5m	11
H801263		ダブルタイプ			4"(φ100)×5m×2本	17
H813263		シングルタイプ	バランサー		4"(φ100)×7.5m	25
H813363		シングルタイプ			6"(φ150)×7.5m	28
H813463		シングルタイプ		NFC-3 (ケブラー)	6"(φ150)×6m	27
H813563		シングルタイプ			8"(φ200)×6m	34

※ノズルは含まず。　但し、H813563 のみノズルを含む。

7. 主要寸法

7.1 排気ホースユニット



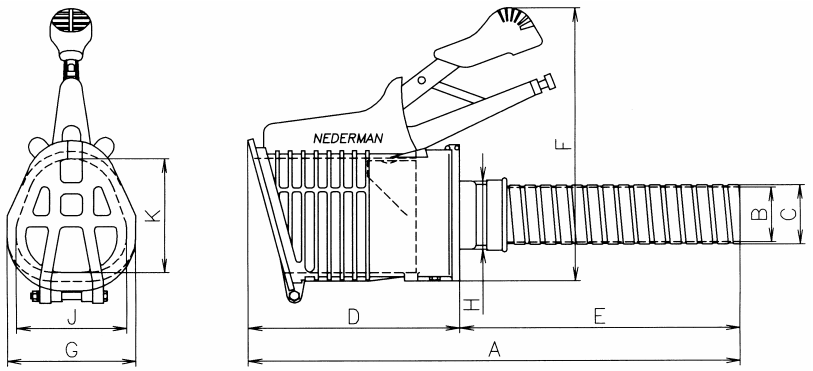


取付寸法

7.2 ラバーノズル

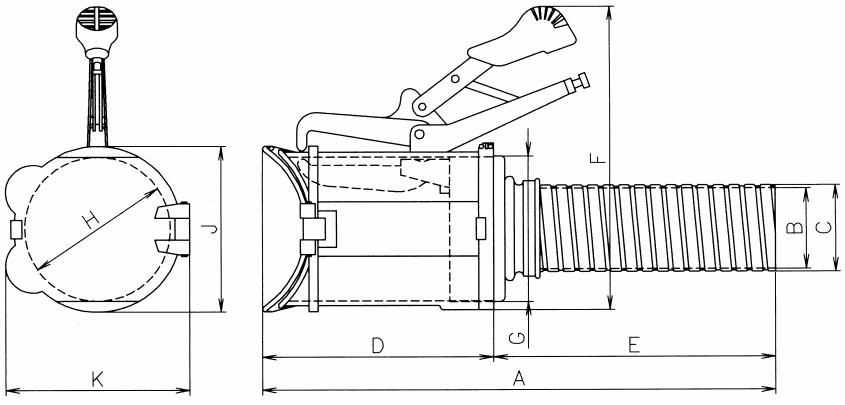
■ラバーノズル △形

製品番号	ホースサイズ	寸法										質量 (kg)
		A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	
H803461	3″ (75 mm)	Max. 720 Min. 535	φ60	φ65	230	Max. 490 Min. 305	Max. 300 Min. 240	φ140	φ75	φ120	125	2.2
H803561	4″ (100 mm)		φ88	φ95					φ100			2.6
H803661	5″ (125 mm)		φ113	φ120					φ125			2.9



■ラバーノズル ○形

製品番号	ホースサイズ	寸法										質量 (kg)
		A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	
H803161	4″ (100 mm)	Max. 740 Min. 555	φ88	φ95	250	Max. 490 Min. 305	Max. 335 Min. 280	φ160	φ158	φ182	200	3.1
H803261	5″ (125 mm)		φ113	φ120								3.4
H803361	6″ (150 mm)		φ133	φ140								3.8



8. 保証規定

本機は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起こりました場合には、納入日より１２か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、又は新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して１２か月間といたします。

2.保証内容：期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

(1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
(2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
(3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用されて生じた故障。
(4) 弊社、又は弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
(5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
(6) パッキン、ホースなどの消耗部品の摩耗。
(7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
(8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
(9) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品ならびに消耗部品については、保証の適用から除外させていただきます。

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後５年とさせていただきます。製造打ち切り後５年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

(控)

型 式	
製 造 番 号	

ご購入年月日	
ご購入の販売店	

MEMO.

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504	東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL(03)3777-4101(代)	FAX(03)3777-3328
札幌営業所	〒062-0002	札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL(011)821-0630(代)	FAX(011)821-0949
東京営業所	〒143-0025	東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL(03)3777-3171(代)	FAX(03)3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052	名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL(052)795-0222(代)	FAX(052)795-0444
大阪営業所	〒537-0025	大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号	TEL(06)6971-5301(代)	FAX(06)6974-0497
福岡営業所	〒812-0088	福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL(092)581-5477(代)	FAX(092)581-6524
相模原工場	〒229-1112	神奈川県相模原市宮下 1 丁目 2 番 38 号		

YAMADA AMERICA Inc.	955 E.ALGONQUIN RD.,ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005, USA	TEL 1-847-631-9200
YAMADA EUROPE B.V	Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands	TEL 31-0-74-242-2032
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司	上海市浦东新区张江高科技园区松涛路 674 弄 9-11 号 3 号楼 1 单元	TEL 86-21-3895-36

201001 EXT009U